

# 令和2年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年11月7日

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社  
 コード番号 4827 URL <http://www.businessone-hd.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 朝樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略室長兼業務本部長 (氏名) 藤木 洋平

TEL 092-534-7210

四半期報告書提出予定日 令和元年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	5,082	1.1	424	22.7	345	30.3	235	29.3
31年3月期第2四半期	5,028	31.0	549	32.2	495	35.3	332	30.4

(注) 包括利益 2年3月期第2四半期 235百万円 (30.4%) 31年3月期第2四半期 337百万円 (31.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	56.65	
31年3月期第2四半期	80.12	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第2四半期	16,423	2,549	15.5	614.59
31年3月期	16,608	2,346	14.1	563.44

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 2,549百万円 31年3月期 2,337百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		4.00	4.00
2年3月期		0.00			
2年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	1.9	720	2.2	620	4.2	430	2.9	103.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期2Q	4,148,900 株	31年3月期	4,148,900 株
期末自己株式数	2年3月期2Q	株	31年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期2Q	4,148,900 株	31年3月期2Q	4,148,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績の回復や雇用環境の改善傾向を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦、不安定な中東情勢等の影響により先行き不透明な状況となっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化・収益基盤の拡大を目的として、各事業部門の永続的な収益確保を意識した業績管理をより一層徹底し、グループ全体の業容拡大を目指してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高5,082,303千円（前年同期比1.1%増）、営業利益424,915千円（同22.7%減）、経常利益345,288千円（同30.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益235,019千円（同29.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①不動産事業

競売事業において低採算物件の早期売却に注力したことに加え、買取再販事業が計画通りに進捗せず、減収減益となりました。競売事業、買取再販事業において引き続き在庫回転期間の短縮と良質な在庫資産の取得に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は3,766,835千円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は227,570千円（同47.7%減）となりました。

#### ②マンション管理事業

分譲マンションを中心としたマンション管理事業を行っております。今後も企業基盤の強化を図り、抜本的なインフラの再構築を進めるとともに、マンション管理の新規受託を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は651,282千円（前年同期比11.6%増）、管理棟数・戸数の増加によりセグメント損失は5,518千円（前年同期はセグメント損失25,881千円）となりました。

#### ③賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業と、マンション管理物件の賃貸仲介事業など、グループの営業資産を基にシナジー効果を最大限発揮し、収益につなげる事業を拡大して行っております。引き続き一般管理物件の賃貸管理戸数の増加による更なる基盤強化を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間における賃貸事業の売上高は466,659千円（前年同期比41.4%増）、セグメント利益は販売費及び一般管理費の削減等もあり156,499千円（同43.8%増）となりました。

#### ④旅館事業

外国人をはじめ観光客・旅行者の増加に起因する国内宿泊施設の不足を捉え、既存マンション等の集合住宅を宿泊施設として提供する事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間における旅館事業の売上高は209,965千円、セグメント損失は宿泊施設仕様への転用に係る投資もあり10,120千円となりました（前年同期はセグメント利益55,219千円）。

#### ⑤ソフトウェア事業

パッケージソフト販売部門において、既存パッケージソフトのiPad版のリリースなど商品ラインナップが拡充・強化されており顧客ニーズに合わせた販売活動を推進しております。また顧客サービスを充実させるべくパッケージソフトの操作指導（スクール）やサポートセンターによる既存ユーザーへの電話サポート、バージョンアップ案内などの保守分野における企画・営業活動を展開することで、複数年契約や保守契約などの収益基盤の拡充を図っております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は138,687千円（前年同期比67.7%増）、セグメント利益は65,919千円（同249.4%増）となりました。

#### ⑥ファイナンス事業

事業者向け不動産担保貸付を主として行っております。

当第2四半期連結累計期間におけるファイナンス事業の売上高は63,011千円（前年同期比75.6%増）、セグメント利益は30,266千円（同237.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,550,210千円となり、前連結会計年度末に比べ228,461千円減少いたしました。これは主に営業貸付金が413,800千円増加し、販売用不動産が678,898千円減少したことによるものであります。固定資産は7,851,440千円となり、前連結会計年度末に比べ46,834千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が188,424千円増加し、土地が127,284千円減少したことによるものであります。なお、土地の減少は保有目的変更による販売用不動産への振替額300,112千円によるものであります。繰延資産は21,849千円となり、前連結会計年度末に比べ3,812千円減少いたしました。これは開業費償却によるものであります。

この結果、資産合計は16,423,501千円となり、前連結会計年度末に比べ185,439千円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,879,514千円となり、前連結会計年度末に比べ378,351千円減少いたしました。これは主に短期借入金401,946千円減少したことによるものであります。固定負債は5,994,110千円となり、前連結会計年度末に比べ10,005千円減少いたしました。これは主に預り敷金12,299千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,873,624千円となり、前連結会計年度末に比べ388,356千円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,549,876千円となり、前連結会計年度末に比べ202,917千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益235,019千円、剰余金の配当16,595千円、非支配株主との取引に係る親会社の持分変動△5,684千円、非支配株主持分の減少9,315千円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は15.5%（前連結会計年度末は14.1%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年5月9日の「平成31年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想等に関する事項につきましては、本日（令和元年11月7日）公表いたしました「令和2年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想及び個別業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,733,338	1,768,086
受取手形及び売掛金	134,377	153,916
販売用不動産	6,029,131	5,350,233
原材料及び貯蔵品	1,864	1,621
1年内回収予定の長期貸付金	6,480	6,000
営業貸付金	769,900	1,183,700
その他	103,943	87,015
貸倒引当金	△362	△362
流動資産合計	8,778,672	8,550,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,163,576	3,352,000
土地	4,228,608	4,101,324
その他	54,923	45,591
有形固定資産合計	7,447,108	7,498,916
無形固定資産		
のれん	1,551	1,090
その他	17,442	17,027
無形固定資産合計	18,994	18,118
投資その他の資産		
投資有価証券	5,240	5,240
繰延税金資産	73,875	81,684
その他	268,296	256,390
貸倒引当金	△8,909	△8,909
投資その他の資産合計	338,503	334,406
固定資産合計	7,804,606	7,851,440
繰延資産		
開業費	25,661	21,849
繰延資産合計	25,661	21,849
資産合計	16,608,940	16,423,501

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,167	56,560
短期借入金	6,743,444	6,341,498
1年内償還予定の社債	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	758,266	814,375
リース債務	4,795	4,515
未払法人税等	104,209	125,080
賞与引当金	53,425	32,200
その他	421,558	385,283
流動負債合計	8,257,866	7,879,514
固定負債		
長期借入金	5,857,407	5,862,201
リース債務	7,039	4,941
その他	139,668	126,967
固定負債合計	6,004,115	5,994,110
負債合計	14,261,981	13,873,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	1,901,609	2,113,842
株主資本合計	2,337,643	2,549,876
非支配株主持分	9,315	—
純資産合計	2,346,959	2,549,876
負債純資産合計	16,608,940	16,423,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	5,028,619	5,082,303
売上原価	3,893,549	4,059,523
売上総利益	1,135,069	1,022,779
販売費及び一般管理費	585,614	597,864
営業利益	549,454	424,915
営業外収益		
受取利息	8,419	5,700
受取配当金	14	13
受取保険金	4,903	2,094
その他	4,415	2,297
営業外収益合計	17,754	10,106
営業外費用		
支払利息	63,351	78,408
社債利息	1,580	1,200
その他	6,970	10,124
営業外費用合計	71,901	89,732
経常利益	495,307	345,288
特別損失		
固定資産除却損	1,309	—
特別損失合計	1,309	—
税金等調整前四半期純利益	493,997	345,288
法人税、住民税及び事業税	158,581	118,077
法人税等調整額	△2,482	△7,808
法人税等合計	156,099	110,269
四半期純利益	337,898	235,019
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,496	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	332,401	235,019



（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）
四半期純利益	337,898	235,019
四半期包括利益	337,898	235,019
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,401	235,019
非支配株主に係る四半期包括利益	5,496	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。